



炬火を掲げていざ謳う

No.75



我らの泉鳥取

2024年5月7日（火）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

通用門から続く

森口良作追悼記念花壇と泉祥会

通用門から入ると、グラウンド脇にプランターが置かれています。「故 森口良作追悼記念花壇」と書かれています。どのような経緯でプランターが置かれるようになったのでしょうか。現存するPTA新聞『つばさ』や30周年記念誌には何も書かれていません。当時在職していた、増田恵一元校長、平野芳男先生に事情を伺いました。



森口良作さんは、2001(平成13)年度のPTA会計監査、2002(平成14)年度のPTA書記を務めていただいていた。水道関係の仕事をされていました。森口さんは、生徒の心を豊かにするために、校内緑化を進めよう、という呼びかけに対して、水道管

ジョイントを学校に寄付し、中庭に設置して、花を植える段取りをしてくださいました。当時の増田恵一校長、湯口芳美PTA会長も共に植栽をして、校内緑化を進めたのです。現在も森口さんに寄贈していただいた水道管で作った植木鉢は多数残っていますが、残念ながら植栽はできていません。



このように熱心だった森口さんですが、お子さんが卒業された直後、若くして心筋梗塞でお亡くなりになったのです。

森口さんの緑花に対する思いと功績を忘れないよう、PTAとその同窓会である泉祥会が植栽のための

プランターを通用門通路に設置し、花を植えました。

現在プランターは、地域連携を行う家庭科、農園部を中心にその遺志を受け継ぎ、2021年にはヒマワリ、2022年には秋桜を植えました。

泉祥会(せんしょうかい)ってなに？

泉祥会は、泉鳥取高校PTAの実行委員経験者が集まって作った親睦団体で、早く言えば「PTAの同窓会」といった団体です。

周年行事での寄付やPTAに対する支援を行っていました。サマーフェスタでの炊き出しや、体育館の体育準備室その側に設置されている太陽時計は、創立20周年の記念に泉祥会から寄贈いただいたものです。

1982(昭和57)年結成されましたが、生徒数減少とともにPTA活動の沈滞化もあり、2005(平成17)年度以降に活動を休止しました。

プランターのヒマワリ

